

## 万が一の事故にそなえて救急体制も万全です。

近隣に医療施設が無いこともあり、入退域管理施設には救急科専門医師、救急救命士、看護師が24時間常駐。計4台の救急車やレントゲン、AEDなど救急体制医療機器も充実しています。



## 安全講習を実施。

構内で働くスタッフに向けて、安全帯の正しい使用方法を丁寧にレクチャー。転落・落下などの事故防止に努めています。



## 更なる環境改善へ向けて。

東京電力ではアンケート調査や現場の方々との意見交換会を定期的に行い、労働環境の改善に取り組んでいます。今後も皆さんの声を踏まえて、安全でより働きやすい労働環境を整備し、廃炉作業を着実に進めてまいります。



## Q&A

Q

構内で作業している人の被ばくは大丈夫なの？

A

事前に作業現場の放射線量を調べ、除染を行うことや、放射線を遮ること、加えて作業する時間の調整などにより、作業員の方の被ばく線量を低く抑えるように管理しています。

Q

再爆発する危険性はないの？

A

再爆発の危険性を限りなくゼロにするために、窒素ガスを入れて換気することにより水素の濃度を抑えたり、水が途絶えることがないよう、さまざまな仕組みを準備しています。

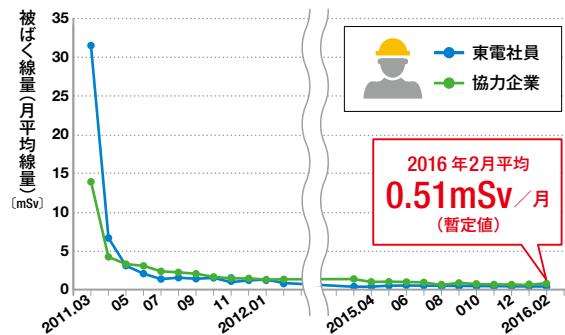
Q

発電所からは今も大量の放射性物質が出続けているの？

A

大幅に減少しています。2016年2月時点で、放射性物質による発電所周辺の月間被ばく線量は事故当時の約50分の1です。

### 作業員の月別個人被ばく線量の推移



詳しい情報はこちら <http://1f-all.jp/>

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一原子力発電所

〒979-1301 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22 電話(0240)32-2101

